

# イチゴ夏秋どりの子苗増殖法について

## 1. 試験のねらい

イチゴ夏秋どりは、品種選定試験の結果、四季成り性品種の適していることが明らかになった。そこで、四季成り性品種の効率的な増殖法を、平成5年度および6年度に検討した。

## 2. 試験方法

### (1) 親株定植及び子苗採取時期試験

供試品種：サマーベリー、エバーベリー

処 理：親株定植時期 3月中旬、4月中旬、5月中旬

子苗採取時期 8月下旬、10月上旬

栽培概要：畝幅5m、株間1m、黒ポリマルチと白寒冷紗トンネル保温、基肥三要素各1kg/a、追肥三要素各0.5kg/a

### (2) 親株床の保温資材及びジベレリン処理試験

供試品種：サマーベリー

処 理：保温資材 パオパオ90R、白寒冷紗

ジベレリン 無、4月上旬、4月上旬+5月上旬

栽培概要：親株定植3月22日、黒ポリマルチ3月下旬～6月上旬、トンネル3月下旬～6月下旬、ジベレリン50ppm液ml/株

## 3. 試験結果及び考察

- (1) 親株定植時期は、早いほどその後の生育及びランナー発生が旺盛で、子苗が多く確保できた。
- (2) 子苗採取本数は、8月下旬より10月上旬に多く確保できた。親株定植を3月中旬に行った場合、良質子苗（クラウン径8.1～12mm）がサマーベリーで236本/株、エバーベリーで161本/株採取できた。
- (3) 保温資材は、パオパオ90Rが白寒冷紗より子苗の生育を促進した。これは、パオパオ90Rのほうが保温性に富み、畝表面の最高気温で3℃、最低気温で約2℃高かったためと思われる。
- (4) ジベレリンの茎葉散布も子苗の生育を促進し、1回より2回散布が優った。しかし、子苗の生育促進効果をパオパオ90R保温の無ジベレリン区と白寒冷紗保温のジベレリン2回区で比較すると、パオパオ90R保温の無ジベレリン区のほうが3葉以上の大苗を多く確保でき優った。

## 4. 成果の要約

良質子苗の効率的増殖法を検討した結果、親株定植時期は3月中旬、保温資材はパオパオ90R、採苗時期は10月上旬が適した。このように管理すると、クラウン径8.1～12mmの苗が約200本採取できた。

なお、ジベレリン散布にも生育促進効果があったが、白寒冷紗保温でジベレリンを2回散布するよりも、パオパオ90R保温で無ジベレリンのほうが効果が大きかった。

(担当者 黒磯分場 村上文生)

表-1 親株定植時期と生育

区 番	品 種	定 植 月/日	親 株 (定植時)			6 月				15 日				
			最大葉cm		クワン径 mm	最大葉cm		ランナー		太郎苗		次郎苗		腋 芽 数/株
			葉柄	葉長		葉柄	葉身	数/株	長cm	本/株	葉数	本/株	葉数	
1.	サマーベリー	3/15	5.7	5.7	11.7	20.4	15.3	5.7	76	3.4	3.4	1.7	2.7	5.7
2.		4/15	4.3	4.8	12.3	16.1	15.0	4.7	52	2.0	2.7	0.9	1.3	3.1
3.		5/14	15.0	9.2	13.0	15.1	11.6	2.3	50	0.9	3.1	0.7	1.2	1.0
4.	エバーベリー	3/15	4.7	4.3	9.9	12.0	11.0	4.6	48	3.3	2.4	1.6	1.5	3.1
5.		4/15	4.7	3.8	10.3	13.0	9.7	3.9	48	2.4	2.5	1.4	1.2	2.1
6.		5/14	12.0	6.9	10.9	11.8	7.7	2.4	40	1.3	2.4	0.1	1.0	1.0

表-2 子苗採取時期と苗数

区 番	クワン径別の苗数(8月下旬) 本/株				クワン径別の苗数(10月上旬) 本/株				クワン径8.1~12mm 苗の増加率 (10/上÷8/下)
	≥12.1	≥8.1	8.0mm≥	計	≥12.1	≥8.1	8.0mm≥	計	
1.	13.0	55.0	63.5	131.5	46.5	235.5	84.0	366.0	4.3
2.	11.5	53.0	42.0	106.5	34.5	121.0	47.0	202.5	2.3
3.	9.0	17.5	11.5	38.0	30.5	110.5	36.0	177.0	6.3
4.	1.0	23.0	83.0	107.0	6.5	161.0	164.5	332.0	7.0
5.	2.0	25.0	58.5	85.5	6.5	143.5	233.5	383.5	5.7
6.	1.5	20.0	57.5	79.0	6.0	75.5	81.0	162.5	3.8

表-3 親株床の管理法と生育

区 番	処 理	5 月 9 日						6 月 1 日						
		芽 数 本/株	葉 数 枚/芽	最大葉 cm		ランナー		芽 数 本/株	葉数別の苗数			ランナー		
保温資材-GA				葉柄	葉長	数/株	長cm		≥3葉	≥2葉	≥1葉	計	数/株	長cm
1.	ハカハ90R-無	2.1	5.4	17	13	2.9	19.5	4.2	4.6	2.7	1.9	9.2	8.6	57
2.	白寒冷紗-無	1.9	4.9	16	12	0.4	3.4	3.0	1.5	1.3	1.4	4.2	6.2	45
3.	白寒冷紗-4/1	2.0	4.6	15	13	1.4	5.9	2.4	1.6	2.4	2.9	6.9	7.4	50
4.	白寒冷紗-4/1+5/9	2.3	4.4	16	12	2.0	7.8	2.8	1.8	3.2	3.2	8.2	9.4	52

表-4 親株床の保温法と畝表面の気温 °C

保温資材		4/21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	旬平均
最高気温	1.ハカハ90R	41.2	43.0	34.1	32.1	36.0	34.9	31.5	25.0	35.6	38.0	35.1
	2.白寒冷紗	35.0	38.1	32.0	29.0	33.0	32.0	29.1	21.1	33.1	34.1	31.7
	差(1-2)	6.2	4.9	2.1	3.1	3.0	2.9	2.4	3.9	2.5	3.9	3.4
最低気温	1.ハカハ90R	7.5	6.0	9.8	12.8	9.0	7.2	4.2	11.9	6.0	5.5	8.0
	2.白寒冷紗	5.0	3.9	7.8	10.8	6.8	5.0	2.0	10.0	3.2	3.8	5.8
	差(1-2)	2.5	2.1	2.0	2.0	2.2	2.2	2.2	1.9	2.8	1.7	2.2